

# ふるさと栄会会報

<http://www.sakaekai.net/>

## 第29回 ふるさと栄会 平成24年12月2日(日)

詳しいご案内 .....	2 頁
ふるさと栄会に寄せて 横手市長 五十嵐 忠悦 .....	4 頁
栄公民館だより 栄公民館長 黒沢 精子 .....	5 頁
母校だより 横手市立栄小学校長 草薙 亨 .....	8、9 頁



みんなで取り組む米作り 学校田の田植え作業 in 栄小学校

# 会長挨拶

ふるさと栄会会長 高橋 豊

ふるさと栄会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このところ東日本大震災をはじめ、豪雪、竜巻、ゲリラ豪雨など大きな災害が続いております。被災された会員はおられないと思いますが大変に掛るところです。東北の復興については難しい問題が多くあつて一朝一夕にはできないことですが、一日も早くと祈るばかりです。

そのために私たちにできることは協力していきたいと思えます。例えば旅行はなるべく東北にするとか、農産物ほかの産業品を購入するなど応援できることはあるはずですが。

今年も総会のご案内をさし上げる季節となりました。会員の皆様から好評のハタハタが天災地変の影響でしようか下ってくる時季が遅くなっているようですので、総会の開催も少し遅らせることに致しました。

横手のりんごも豪雪のため大きな被害を受けましたが何とか取り寄せるよう努力します。山内名産の芋の子汁や横手の銘酒など、ふるさとの懐かしい特産品も取り揃えてお待ちしております。

友人・知人を誘い合せてご一緒にお越しくださいますようお願い致します。

## 第29回「ふるさと栄会総会」のご案内とお願い

平成24年12月2日(日)  
午前10時15分より 受付開始  
同 11時 総 会

アートコンプレックス・センター

六、〇〇〇円(当日会場にて)  
ご家族二人以上でご参加のときは一人当り五、〇〇〇円。  
活動運営資金賛助金は振込みでも当日でも申し受けます。

準備の都合上、欠席の場合も必ず返信ハガキにてご出欠のご連絡をお願いいたします。

現在、ふるさと栄会の会員は名簿のうえで八三〇名おられます。全員に毎回、会報や総会のご案内等をお送りしておりますが、総会の出欠などご返事のない方が多数おられます。

いろいろ事情がおりとは思いますが、どうぞ欠席の場合にも必ず返信のはがきを投函いただきますようお願い致します。

このたび、会員名簿見直しにあたり、これまで連絡等のない方及び今回の総会へのご返信をいただけない方については、今後会報等の送付を見あわせたいと思っております。ご理解ご協力をお願い致します。

ふるさと栄会連絡所 和賀秀夫

〒二三二―〇〇六五 (新町)

横浜市南区別所中里台十五―四〇  
電話・FAX〇四五―七四二―一五四〇

携帯 〇九〇―二四二四―一七七一  
E-mail: h.wagas55@soleil.ocn.ne.jp

## 第29回ふるさと栄会プログラム

第一部 総会 11時00分

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
  - (1) 事業報告
  - (2) 決算報告
  - (3) 監査報告
  - (4) 役員改選・役員紹介
5. 来賓あいさつ

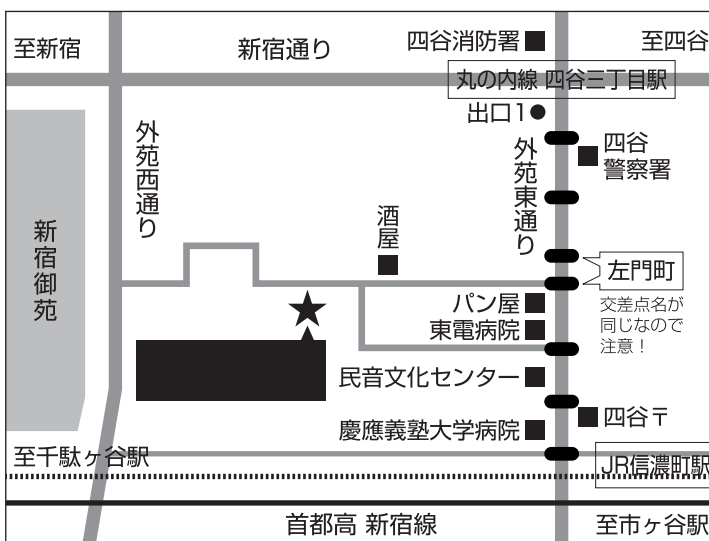
記念ライブ 斉藤 忠生(テノール & トーク)

第二部 懇親会 12時20分

- 乾杯
- 来賓紹介
- カラオケ大会
- ビンゴゲーム(賞品、他多数)

第三部 二次会 14時~16時

## The Artcomplex Center of Tokyo アートコンプレックス・センター



●丸の内線「四谷三丁目」駅【出口1】、徒歩7分

●JR総武線「信濃町」駅、徒歩7分

※住宅街の中世ヨーロッパ風のレンガ造りの建物です。

ふるさと栄会役員会の活動報告

一、平成24年度役員会開催

第1回 平成23年12月11日(日)

① 第28回総会の総括

② 平成23年度決算

第2回 平成24年4月22日(日)

① 監査役員会

② 役員会

イ、第29回総会について

ロ、会報の内容について

ハ、決算報告

ニ、記念公演について

第3回 平成24年7月8日(日)

① 第29回総会について

② 平成23年度の会計監査

③ 会報発行について

④ 新役員体制に向けて(案)

第4回 平成24年10月14日(日)

① 第29回総会の内容確定

② 平成24年度総会の予算案

③ 総会までの役員の準備手配

役割分担の確認

④ 平成24年11月24日(土)

第29回総会準備

二、平成24年度の活動

① 平成24年6月～8月

記念ライブ候補ショー下見会

さかえ館黒沢館長表敬訪問

大屋梅保存会戸田事務局長表敬訪問

横手市立栄小学校表敬訪問と原稿依頼

② 会報入稿完了予定 9月上旬

③ 会報印刷・発行発送 10月末日より

④ 同期会・同級会への支援・

助成金の交付と会報によるPR活動の支援

(一) 助成の目的・同期会等の活動が活発に行われるよう支援することにより

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(二) 助成の金額

① 「ふるさと栄会総会」に10名以上の同期生が出席し別に同期会を開催するときは、五千円を助成する。

② 同期生が全体的に集う本厄の還暦祝・古稀祝を開催したときは一万円を助成する。

③ 助成の申請及び報告

主催者又は代表者が会の開催日時・場所・参加人数等を「ふるさと栄会」の役員に申し出て助成を受け、事後に報告する。

④ 同期会・同級会への支援・助成金の交付と会報によるPR活動の支援

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(一) 助成の目的・同期会等の活動が活発に行われるよう支援することにより

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(二) 助成の金額

① 「ふるさと栄会総会」に10名以上の同期生が出席し別に同期会を開催するときは、五千円を助成する。

② 同期生が全体的に集う本厄の還暦祝・古稀祝を開催したときは一万円を助成する。

③ 助成の申請及び報告

主催者又は代表者が会の開催日時・場所・参加人数等を「ふるさと栄会」の役員に申し出て助成を受け、事後に報告する。

④ 同期会・同級会への支援・助成金の交付と会報によるPR活動の支援

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(一) 助成の目的・同期会等の活動が活発に行われるよう支援することにより

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(二) 助成の金額

① 「ふるさと栄会総会」に10名以上の同期生が出席し別に同期会を開催するときは、五千円を助成する。

② 同期生が全体的に集う本厄の還暦祝・古稀祝を開催したときは一万円を助成する。

③ 助成の申請及び報告

主催者又は代表者が会の開催日時・場所・参加人数等を「ふるさと栄会」の役員に申し出て助成を受け、事後に報告する。

④ 同期会・同級会への支援・助成金の交付と会報によるPR活動の支援

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する

(一) 助成の目的・同期会等の活動が活発に行われるよう支援することにより

「ふるさと栄会」の維持発展に寄与する



## 平成23年度会計報告(案)

総会に承認を求める案です。

科目	内容 (第28回)	第27回(平成22年)			第28回(平成23年)		
		人数	収入	支出	人数	収入	支出
賛助金	101名	99	250,150		101	278,000	
会費	会費(55名×6,000円) <sup>(※3組御夫婦×10,000円)</sup>	49	288,000		55	324,000	
	二次会の会費(63名)	64	100,000		63	97,000	
広告	25件×5,000円	21(件)	105,000		25(件)	125,000	
会場売上	ビンゴカード・梅干・漬物他		203,050			192,200	
祝金	東京かまくら会様・西中同窓会様・来賓の皆様(21名)	20	216,000		21	200,000	
利息	決算利子		83			50	
印刷代	会報印刷代・ハガキ・封筒・振込用紙 総会資料等印刷代			285,295			300,355
通信費	郵便切手・連絡用ハガキ・宅配便代 (返信ハガキ後納料金利用)			30,196			25,461
会場費	総会会場費・芋の子汁材料・清酒・りんご・漬物・大屋梅・鉢植・来賓土産			791,536			705,755
謝礼	謝礼金・お花代			160,000			10,000
その他	還暦祝・会議費・紙袋・電子コピー代・西中同窓会祝金・振込み手数料・カラオケ設置・香典・見舞金・リボン代			141,669			71,737
収支合計	計		1,162,283	1,408,696		1,216,250	1,113,308
繰越金	前期繰越		431,996			185,583	
	23年度決算額		-246,413			102,942	
	24年度へ繰越			185,583			288,525
合計			1,594,279	1,594,279		1,401,833	1,401,833

## 横手の魅力を発信して

横手市長 五十嵐 忠悦



日増しに秋の深まりを感じる今日のごころですが、ふるさと栄会会員の皆様におかれましては、お元気で過ごされたことと存じます。

今年は、昨年に引き続き豪雪の冬であり、加えて4月初めに発生した暴風雨や7月初めに降り続いた大雨は、建物や農作物に甚大な被害をもたらしました。自然の猛威をあらためて感じるところであり、今後も防災強化により一層努めていきたいと考えております。また、本市では「食と農のまちづくり」事業を推進しており、被害を受けた農家の生産体制の復旧に向けて、関係機関と連携しながら支援をしてまいります。

さて、本市では、後三年合戦の舞台となった横手が平泉文化源流の地であることを多くの方々に知っていただ

るよう「平泉文化の源流プロジェクト」を進めております。今年度は美郷町と交流連携協定を結び、JRの臨時列車でのPR活動や、横手市内初のコミュニティFM放送「横手かまくらFM」において後三年合戦や横手・美郷・平泉の関係をドラマ仕立てにした番組を放送するなど、様々な取組みを行っております。こちらの番組につきましては、本市のホームページでもお聴きいただけますので、ぜひお楽しみいただけます。来年度にはJR東日本が主体の「秋田ステイネーションキャンペーン」が開催されます。これからも平泉町・美郷町との連携を更に深めながら、横手市の魅力をより一層磨き上げ、更なる誘客を目指してまいります。8月には昨年完成した横手駅舎と東西自由通路「こころうど」に続き、東口駅前広場の改修も完了いたしました。皆様も横手に帰郷される際には、平泉文化の源流を辿る旅行などをご計画いただき、新装なった横手駅をご利用いただければと思います。

さらに、2014年には秋田県内各地を会場に「国民文化祭」が開催されます。国民文化祭とは、全国各地で様々

な文化活動を行っている個人や団体が、日頃の成果を発表し、競演し、交流する「国内最大の文化の祭典」です。本市でも「民謡・民舞の祭典」や「国際マンガサミット」など多くの事業の開催を予定しております。2014年は、横手市が合併して新しい市になり10年目に入る記念すべき年です。本市では市民総参加による取組みを計画しており、様々な独自の企画やイベントを開催することで、横手市独自の文化や価値観などを見つめるきっかけにしていきたいと考えています。皆様にもこの取組みをぜひ応援いただければと思います。

日頃から会員の皆様におかれましては、横手市のさまざまなまちづくりへの挑戦にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。今後とも会員の皆さまが誇れるふるさとのおまちづくりを努めてまいりますので、なお一層のお力添えをいただけると幸いです。

結びに、ふるさと栄会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、ごあいさついたします。

うぶすなさま  
郷土ふるさと産土様

法龍山守 榮神社  
鎮守

初代快永法師より450年  
第十六代宮司

神原義征

〒013-0051  
横手市大屋新町字小松原4番地  
電話 0182-33-5617

地域に密着して 愛される窓口を  
目指しています。

株式会社  
JP 横手栄郵便局

TEL 0182-33-8240

FAX 0182-33-8204

局長 高橋 俊彦

有限会社 秋田しゃぼんサービス

グループホーム りんご村。

施設長 和賀 健悦

〒013-0051

秋田県横手市大屋新町字平林46-1

電話 (0182) 35-6271

FAX (0182) 35-6272

## 栄公民館の活動より

### — 横手やきそば音頭の輪 —

栄公民館館長 黒沢 精子

まちなかで「方言」をよく目にする。看板やポスター、のぼり旗、施設の名称など、いたるところで使用されるようになった。方言の観光資源化の流れは全国的なものであり、あきた弁で秋田の良さを発信することに何の異論もないが、「美しい方言」を使って欲しいと願わずにはおれない。

たとえば「ください」の方言「たんせ」、合併と同時に「たんしえ」になったときは、違和感でいっぱいであった。少しゆずっても「せえ」かも知れないが、書き言葉では「せ」にして欲しい。しかし、横手市のパンフレットやのぼり旗は「たんしえ」であふれている。品位が感じられずいつも残念に思っている。平成26年秋に行われる国民文化祭開催時には、美しい方言で全国のみなさまをお迎えしたいものである。

さて、栄公民館の活動としては「栄公民館からエコ発信！」四年目となりました。今年は家庭に眠っているタオルを利用し、入院患者やガン患者のための「タオル帽子」を作りました。冬期間だけの講座「お気楽ものづくりサロン」のみなさんが思い立ち、タオルと一緒に施設に寄贈し喜ばれました。夏には、米袋や新聞紙、発砲スチロー

ルで作ったカゴやかまくら人形の展示会も行われました。また、「婦人教養講座」では、東日本大震災の教訓を生かす防災講座として、牛乳パックで作る「24時間防災キット」、ビニールの水飯袋での炊き出し、シーチキン缶のローソク作りなどを行い、実際に岩手県釜石市に視察に行き、生の現状を勉強して来ました。震災時に一番困ったのがトイレだったという教訓から、新聞紙の簡易便器の折り方も学びました。

さらに、作れそうで作れない神社や神棚用の「鈴の緒(ガラガラ)」と「お地藏さまの前掛」の縫い方を地域の古老から習いました。中味は新聞紙やカレンダーです。このエコ鈴の緒は、大風で被害を受けた産土神社に掛けられています。

今年が目玉は「横手やきそば音頭」の踊りの輪が大きく広がっていることです。横手で活躍中のシンガーソングライター、たかはらてるおさん(安田原)が作詞、作曲した曲ですが、栄公民館が昨年、全国表彰を受けた際に職員が余興で披露した踊りが大ブレイク！明るく元気になれる軽妙な音頭、しかも横手の宣伝になるとあって、夏祭りや地域の行事で踊る方々が増えました。栄神社の祭典や、栄小学校の六年生も踊り、さかえ館まつりでは大きな踊りの輪で、地域に元気を呼びこもうとしています。



横手やきそば音頭練習風景 栄小6年生と地域住民のみなさん

ンヤのこぎり音楽の演奏、震災を受けた福島の方々の太鼓演奏などが行われました。ばら園はとても広大で見事ですので、一度は必見です。また、さかえ市民会議では秋に「大屋館」に桜の木を植えます。

公民館の活動は多岐にわたり、書き尽くせないほど「ふるさと栄会」の方々にお伝えしたい事がありますが、またの機会にいたします。現在「ウソ、ホント? 栄地区の伝説」の小冊子も17号まで発行されております。来年には本にまとめてお届け出来ればと奮闘中ですので、お楽しみに！今後とも、栄公民館へのご助言、ご協力をお待ちしております。みなさまもふるさと横手の応援団としてご活躍くださることをお願い申し上げます。



和賀健悦さん(平林)のばら園 ドレミファローズヒルガーデン全景

# 平泉の源流からの メッセージを全国に

6月16日に秋田発平泉行きの特列列車に乗り、岩手県平泉町を美郷町の松田町長と一緒に訪問しました。

平泉町の菅原町長とお会いし、平泉を中心とした歴史的なつながりを持つ3市町の広域的連携についての話し合いをするためです。

昨年、『後三年合戦、藤原清衡を通じた歴史的つながりを生かし、観光分野などで連携していきましょう』と記した親書を手渡すために平泉を訪問しています。その際にも菅原町長は、「当時の平泉は、福島白川関から青森までの範囲を指すもので、横手市や美郷町はまさにその中に入っており、共通の世界遺産として平泉を共有しながら、付加価値を高めていければ素晴らしいこと」と話しておりました。今回の訪問でもお互いが協力し、今後の連携につなげていくことを確認しました。

平泉町では景観を守るため、建築物の高さ制限（2階建て※10メートル未満）や建築物の屋根の形状の制限（切り妻づくりや入母屋づくりなど旧来の形状のみ許可）、看板など屋外広告物の色や大きさを規制するなど、かなり踏み込んだ内容の条例を作っています。

平泉町役場へ向う通りなどの町並みに目をやると、コンビニエンスストアなどの店舗や銀行など企業の看板が原色を使わず、平泉の風景になじむような、茶色を中心とした色使いがされています。世界遺産を守り、残していくことに、住民はじめ企業など町ぐるみで取り組んでいることがよくわかります。私たちも、世界遺産にゆかりのある地に住むもの一人として、その歴史や文化に関心を持ち、その価値を後世に伝えていく責務があることを強く感じてきたところです。

市では、この夏平泉駅前にも、『平泉の源流』横手を、日本全国から訪れる観光客にPRしながら横手の地場産品を取り扱う店舗を開設するための準備をしており、間もなくオープンできる見込みです。平泉の源流からのメッセージが多くの人に届くことを願って平泉を後にしました。（市報よこて 平成24年7月1日市長コラムより抜粋）

## 平泉文化の源流をたどる

歴史伝説ウォーク（横手）

5月16日、後三年合戦の史跡をたどる『歴史伝説ウォーク』が開催されました。

栄公民館主催のこの講座には、13人

の方が参加。金沢歴史を語る会ガイド代表の小友直史さんが後三年合戦について解説した後、清原武衡が身を潜めていたという『蛭藻沼』と、源義家が雁行の乱れで敵兵の存在を知り、難を逃れたという西沼がある『平安の風わたる公園』を散策。参加者らは、かつて戦いがあつた時代に思いを巡らせながら史跡をたどっていました。

市報よこて 平成24年6月1日



平安の風わたる公園で後三年合戦の解説を受ける参加者

甘熟蜜入サンふじ  
りんご園からもぎたて直送

## 高橋農園

(有)タカハシ(不動産管理)  
代表取締役 高橋 勝雄  
横手市婦気大堤字田久保下44  
TEL FAX 0182-33-1204

横手焼そば専門店

## 藤春食堂

メニューは10種類以上  
組合せは好み次第

家庭的な雰囲気のお店です  
帰省の節は是非お立ち寄りください

年中無休 11:30~17:00  
0182-33-5687

横手市大屋新町字堂の前22-3  
さかえ館前

秋田のおみやげなら何でも揃う

## おみやげ専門店

**嶋津**

伝統工芸と味

田中町本店／横手市田中町4番40号  
そば処／TEL(0182)32-5450  
イオンスーパーセンター横手南店／(0182)35-2355

株式会社 嶋津  
営業時間 9:30~17:30 水曜日定休

### JA秋田ふるさと横手総合支店

営農資材課長 堀江 一彦

「ふるさと栄会」の皆様、大変ご無沙汰しております。JAの業務を通じて皆様に近況をご報告いたします。

JA秋田ふるさととは今年度4月にJAおものがわと合併し横手市一円の事業区域となりました。横手市の行政区域と同一になることにより行政側と一体になった農業振興が図られることが期待されるものです。

さて、十月初旬で今は稲刈りが8割ほど終了し豊作の秋を迎えております。今年は夏の記録的な猛暑と少雨で少なからず作物に悪い影響が出ていますが、稲はほぼ平年並みの作柄ですが、昨年の大雪で甚大な被害が出たりんごの生産量は未だ6割程度の回復に留まっている状況でまだまだ苦境が続きます。

今、農家とJA組織が不安に思っている関心事がT P P加入問題です。政府野田内閣がT P P参加交渉のテーブルにつく意向であることからJAでは組合員組織を挙げて反対運動を展開中

であります。地域社会や農業、緑の農村風景をも崩壊させかねない地方の生死に関わる大問題であり、皆様におかれましては「ふるさと」を想い存続させる気持ちでT P P反対運動に同調していただければ幸いです。

最後になりますが安全・安心を第一に生産するふるさと横手の農産物、「つり吉三平」マークの付いたJAあきたふるさと産農産物を今後とも皆様が応援となつてくださるようお願い申し上げます。

平成24年10月1日



(C)矢口高雄

平成12年度から、ふるさと産で販売される青果物のイメージキャラクターとして、増田町出身の漫画家矢口高雄氏の作品「釣りキチ三平」を起用し、他産地との差別化を図っています。

りんごとあきたこまちの里

### JA 秋田ふるさと

#### 秋田ふるさと農業協同組合

代表理事組合長 高橋慶典  
理事 柴田多一(外ノ目)  
〒013-0071 秋田県横手市八幡字八幡50

#### ふるさと栄会秋田事務所

TEL 0182-32-8220(代表)  
FAX 0182-33-9200

秋田ふるさと農業協同組合横手総合支店  
横手総合支店長 遠山 弥吉

### 横手の酒蔵



阿桜酒造株式会社  
TEL0182-32-0126



### パールライスグループ 横手食糧事業協同組合

事務長  
小田島キク子



〒013-0051  
秋田県横手市  
大屋新町  
字法竜84番地

TEL 0182-33-5339(代表)  
FAX 0182-33-5207

夏の涼味をあの方へ  
心からの贈りもの

稲庭手揉饅頭・稲庭手揉素麺

### 京 家

本社 秋田県横手市大屋寺内堀ノ内337-2

☎ 0182-33-5918  
FAX 0182-33-5949  
販売所 秋田市ふれあいセンター(かまくら館)  
秋田県横手市田中町1-26



秋小町、ほろわうどん  
秋小町いなわうどんは、麺道をうならす味の逸品です。そのきめ細やかな乳白色の色あいと手造り特有のつややかなのとこしをぜひご賞味下さい。

美味しさ伝えたい  
いなにわ手造りうどん

秋田県横手市大屋新町字堂ノ前22-7

### 有限会社 三浦商店

☎0182-33-5567 ☎0182-33-4555

よねや  
ハッピータウン  
TEL-FAX 0182-36-6565

秋田ふるさと  
みくら  
TEL-FAX 0182-33-8876

## 栄小だより

### 「夢と学びと楽しさを」

横手市立栄小学校長 草薙 亨

平成24年度の夏は昨年度以上に猛暑となりました。秋田気象台のデータによると8月は31日の36.4度を最高に真夏日が全部で23日、24度を下回る日はゼロ、8月全てが夏日、降水量が記録された日はわずか3日です。

でも子どもたちは元気いっぱい、夏休みのプール開放は連日多くの子どもたちで賑わいました。学校の観察園の植物や野菜たちも暑さに負けずに元気に成長しました。この秋、みんなでおいしくいただきました。特に枝豆と横手市で力を入れているシシリアンルージュというトマトは豊作でした。学校のすぐ隣がリング畑ですが、果物は好対照となったようです。ブドウや梨は暑さのせいで甘さが増しましたが、リングゴは日焼けの被害が出たという報道がありました。

9月に入りました。記録的な残暑にも負けず「栄っ子」は「夢と学びと楽しさを」の学校教育目標のもと、1日1日、一歩一歩の歩みを大事にしながら日々がんばっています。

前回に引き続き学校報「栄っ子」に掲載した記事から、栄小の歩みの一端をご紹介します。前は7月までの様子でしたので、今回は昨年度の秋から冬にかけてをご紹介します。ご自分の小学生時代と比べたり、思い出していただきたいと思います。

## ◎学習発表会

学校報No17(九月十五日)

九月一日(日)に行われた学習発表会にはたくさんのおみなさまにご来場いただきました。子どもたちのふり返りの作文です。

### ◆くじらぐもさんへ

1年 ささき ちひろ

ぼくは子どものやくです。れんしゅうのとき、おどるのがなんざしました。ほんばんでは、おきやくさんがよるこぶはつぷようをがんばります。

いよいよほんばんです。ぼくはきんちようしました。どきどきしたけどおきやくさんのはくしゅをきいてがんばりました。

くじらぐもさん、ぼくのはつぷようを空から見てくださいましたか。こんどはがいこくのやまへつれてってね。

### ◆学習発表会のふり返り

4年 阿部 葉里

今日学習発表会がありました。人が多くいたので予行よりもドキドキしました。わたしの出番の時にドキドキしながらステージの前に出て行きました。今回は本物のマイクを使っているのでも、セリフを言うのがちよつびりこわかったです。でも、セリフを言ってみたら「できる」と言って言ってみました。心から思ってみたらいつものように声ははっきりと出ていました。わたしは「やればできる!」と思いました。「やってみないとわからない」と思いました。

### ◆学習発表会のふり返り

6年 佐々木 王雅

ぼくは今年で最後の学習発表会でカッパの役をやりました。いろいろな道具を使ってけっこうがんばりました。初めからカッパの役をやりたいと思ってやりました。セリフはむずかしかったけど、すぐ分かりました。予行は、まあいい感じに成功したと思いました。

本番の学習発表会では、結構あつという間だと思いました。手袋が届いて、道具がそろって、くちばしが無いのは残念だったけど、しっかりできました。少し心残りがあったけど、全力できてよかったです。

第一部の他は少し失敗したところがあつたけど、今までの中で一番やることが多かつたし、カッパの役もできたので思い出に残る学習発表会になったと思います。

(6年生は栄地区に伝わるカッパにまつわる伝承を劇にし大好評でした。)



学習発表会

## ◎秋

学校報No19 (十月六日)

「明日のナベッコは体育館で食べることになるのかなあ」「座る場所が乾いて

くれるかなあ」前日までの悪天候でいろいろな心配がありました。十月四日(火)は見事な秋晴れの一日。天は栄小の子どもたちの期待に見事に応えてくれました。おかげで、どこのグループもおいしいナベッコづくりに大奮闘することができました。栄小の特徴でしょうか。ナベッコにうどんを入れるグループがけっこうありました。完成した芋の子汁は味噌味、醤油味というのでした。どれも大変においしく、全てのグループが完食、残飯無しの素晴らしい結果となりました。

グループでの話し合い、ゴミ拾い、ナベッコづくりと、異学年の交流からたくさんの方が体験できた貴重な一日となりました。

ナベッコ活動の前は、昨年引き続き「拾えば栄が好きになる運動」です。全校縦割りグループ毎に担当地区を回りながら、道路や側溝付近のゴミ拾いを行いました。空き缶、ペットボトル、鉄くず、紙やビニールのゴミなどたくさん収穫しました。49.6kg、喜んでいいのか、悲しむべきか、ちよつと複雑ですね。

## ◎実りの秋 稲刈り

学校報No21 (十月二十八日)

「きらり学年」5年生の「きらり農園」の稲も立派に実りの秋を迎えました。春先の代掻き、6/7の田植え、そして収穫まで、社会科や総合的な学習の時間の学習とも関連させながら見守ってきました。時々訪れては苗の育ち具合を観察し、稲作について関心を持つとともに日本の農業についても考





実りの秋

えました。水質を調べることから環境問題についても学びました。豊作を願って「かかし」や「スズメよけ」も立てました。農園は、5年生にいろんなことを学ばせてくれました。

21日(金)は秋空の絶好の稲刈り日。今回も栄地区環境保全隊、JA秋田ふるさと青年部のみなさんに全面的にご指導とご協力をいただきました。刈る時の稲の持ち方を知り、お手本のようにうまく刈ることができたときの感激は格別だったようです。コンバインの作業を間近で見たりできたこともうれしいことでした。(230kgの収穫量となりました。)

5年生の米作りの活動記録を種苗交換会(横手体育館)に出品しました。

### ◎雪囲い 学校報No.23 (十月十日)

11月に入りスタッドレスタイヤ、ストーブなどのCMが賑やかになってきました。ふだんの会話にも今年の雪を心配する話題も出るようになりました。大雪はゴメンしてほしいのですが、ちまたの噂によると今年も何と大雪の予想が…!?

○噂その1「カマキリが高い所に卵を産んでいる」

○噂その2「今年はカメムシが多い。こんな年は大雪に。」

○噂その3「気象庁は南米ペルー沖の海面水温が下がり、世界的な異常気象の原因となる「ラニーニャ現象」が、今冬にかけて発生する恐れがあるとの監視速報を発表した。ラニーニャが発生すると、東日本から沖縄・奄美にかけて、冬の気温が平年より低くなる傾向がある。」11月発表より

学校ではお2人の方にお手伝いをいただいで、校舎の雪囲いを火曜日と水曜日の2日かけて行いました。校舎の準備はできました。

### ◎今年も大雪? 一月十四日は123cm

学校報No.30 (二月二十日)

クリスマス寒波から続いた降雪は1月14日(土)にはついに123cmを記録しました。この記録は横手のアメダス(横手市横手町大樋 標高:59m)で観察したのですが、一月の積雪量としては過去30年で6番目の記録に当たります(秋田気象台のHPのデータによる。ちなみに1番目は191cmで、平成23年1月31日)。今日現在(1/19)で

は90cmで平年の約1.5倍の積雪です。学校でも業者さんに雪下ろしをお願いしました。通学路等、点検をしていますが、見通しがだいぶ悪いです。危険なところ等、学校までご連絡ください。学校でも子どもたちに指導していただき、ご家庭でも声かけや見とどりをお願いします。



今年も大雪?

### ◎スキー学習始まる

雪国ならではのスキー学習が始まりました。今週は天候に恵まれ、好条件の中での授業開始となりました。スナップはグラウンドでの1年生と2年生の様子です。着替えからスキー靴を履いて外に出るまでがまずは一苦労ですが、挫折する子もなく何とか全員外に出ることができました。次の難関は、体育館入り口からグラウンドまでの移動です。スキー靴に慣れるために

は、ちようどいい移動距離でしょうか、張り切って歩く子どもたちです。課題を一つ一つ克服しながら上達していく子どもたちです。みんなとてもいい顔になって滑っています。

保護者のみなさまには、用具の準備から搬入といろいろとお世話になっていきます。ありがとうございます。まずは怪我のないよう安全第一で学習を進めます。

### ◎番外編

横手市の大雪は22年度、23年度と2年連続で続きました。どんな名文よりも写真が一番伝わるといふことで、前庭の松の木に積もった雪の写真をご紹介します。人間と比べてみてください。

雪国ならではのスキー学習ですが、授業時数の関係でスキーを履く機会が少なくなりました。低学年はグラウンドで何回か練習しますが、その他の学年は年2回近くのスキー場へ出かけるだけです。家庭でも行く機会は少なく、学校のスキー学習以外はスキーに出かけない子が多くなっています。とても残念です。

そんな中、スキーの部活動はがんばっています。ノルディックスキー部はグラウンドや学校裏のリング畑を利用して放課後がんばって走っています。悩みは、道具が古くなってきていることとコースつけです。中古のスノーモービルなどの機械があればいいのですが、そんな贅沢は言ってもらえません。体育のスキー学習とスキー部の初めの一步は人力による「雪こぎ」です。

## 同期会だより

栄中第11期生（昭和三十三年卒）

### 「古希祝いの会」



翌年に開催する後祝いは首都圏地区で開催するのが還暦以来の恒例、古希後祝いとなれば満七十才、体力、脚力の衰えを日々感じている年令、今回の

コースは極力見物箇所を少なくしてゆつたりと設定。時期も同じ六月七、八日の二日間、東京駅を起点に横浜、三浦、鎌倉、江ノ島を周遊するコースを横手地区から十二名、東北各地から五名、静岡、愛知から各一名計三十八名の参加を得て開催しました。各方面からの参加者全員が見事に予定通りバスの出発地東京駅丸の内口に到着。

まず向かったのがキリンビール生麦工場・ビアビレッジ、目的は今はやりの工場見学と工場内のレストラン「ビアポート」で昼食

昨年「古希の祝い」、準備を進めているさなかに起きた三月十一日の震災と原発事故、東北被災地三県に同期生が住むと言う状況下、横手地区実行委員には難しい判断を迫られたが、予定通り六月に角館、田沢湖を中心に開催すること決断、大勢の参加を得てまさに「絆」を確かめ合う会になりました。

わたりNHKが放送した司馬遼太郎原

作のテレビドラマ、「坂の上の雲」の舞台となった日露戦争の日本海海戦でロシアバルチック艦隊を破った連合艦隊旗艦三笠が保存されている。乗艦にあたり偶然「保存会」の職員の方が同郷の人、持田出身の鈴木さんと分かりしばしふるさと談義。

一日目の最後は三浦半島先端の三崎港と城ヶ島、車中を見ると出発から休みなしのアルコールと、カンカン照りの好天気で一行お疲れモード。雨が降らない城ヶ島は降りて見る価値なし、午後の三崎港は閑散として見る価値なしとどんだん省略、車内からの見物に変更、一路宿泊先の三浦マホロバマインズに向かう。

経路の都合上、お祓い御祈祷は二日に組み込まれているが、いよいよ前倒しの祝賀会。和賀益人君の挨拶は昨年引き続き震災、恩師、同期生の「絆」の話。

宴会は参加者全員の「ひとり一言」から始まり、山形県鶴岡から大隅義隆君が抱えてきたギターをバックに全員が立ち上がったの合唱メドレー、最後の校歌斉唱で盛り上がりは最高潮に達

した。

二日目、梅雨時とは思えない二日連続の晴天の中、お祓い御祈祷の鎌倉鶴岡八幡宮に向けて出発。一昨年強風で倒れた大銀杏とそこから生まれた若木の見事な再生ぶりを見ながら本殿に進む。昇殿しての御祈祷、お神酒、守礼拝受を滞りなく終了。

ここから海開きの準備が始まる湘南海岸を江ノ電と並走しながら江の島に。お目当ては江の島貝作での昼食、移動のバス車中からシラスの水揚げ状況を確認し生シラスを早速追加注文。到着に合わせて揚げたばかりのアジフライをパッドに入れた店員さんと同時に昼食会場に入る。今回は観光地の混雑を避けての平日開催、どこでも貸し切り状態でゆつたりと出来て大正解。

最後の締めは東京駅での「はばき脱ぎ」、各方面それぞれ帰路の出発時間をにらみながら二日間を振り返り、次回の再会を約し乾杯が続いて行く。

栄中十一期会

佐藤 宗徳

栄中第21期生（昭和四十三年卒）

## 還暦を祝う会



去る6月24日（25日、栄中学校第21期生の「還暦を祝う会」が開催されました。好天に恵まれた栄神社境内には、神事開始の1時間以上も前から続々となつかしい顔、顔、顔が集結。1人、また1人と、なつかしい顔が見えるたび、歓声があがった…。

時間の関係で、記念写真を先に撮影することになったものの、懸命に叫ぶ「平源写真館」さんの声も、話に夢中のみんなの耳には届かず、なかなか撮

影が進まない…。(^.^)

お祓いのあと、恩師の片庭先生からご祝辞をいただきましたが、今回先生ご自身の「傘寿」のお祝いと私たちの「還暦祝いの会」の期日と重なったため、「祝宴」には出席できなくて残念なお話がありました。

私たちは先生に挨拶をし、その後打ち上げられた「祝いの花火」を合図にバスに乗り、一路田沢湖高原「駒ヶ岳観光ホテル」へ向かいました。到着したホテル正面玄関では、ただ1人ホテルに直行した「辻亨君」と合流、2回目の記念写真の撮影となりました。

「還暦祝いの会」は、午後6時総勢52名の出席により開会、上遠野誠君の司会の挨拶に始まり、今春亡くなった高橋キサ先生、そして同期生6名の方々に1分間の黙祷をささげた後、校歌斉唱、実行委員長の河村重市君の挨拶、鏡開き、乾杯の音頭と続き、祝宴に入りました。

めでたい「祝餅まき」、部活ごと・出身地区ごとの「グループ写真撮影」や、「近況一言集」の紹介、「思い出写真のスライド映写」などでさらにヒートアップし、楽しい時間はアツという間に過ぎていき、柴田清美君の中締め・三三七拍子となりました。

その後は、隣の会場に移動して二次会が始まりました。

現在プロとして活動している飯田和子（芸名量子）さんの進行と歌で場面は一転、カラオケ大会となり、時がたつのも忘れ歌い、また、昔話に華が咲きました。

さらに合間には、来年の「後祓い」を東京方面で開催することに決め、午後11時過ぎお開きとなりました。

しかし、そのままおとなしく眠りにつくはずもなく、さっそく部屋に戻っての三次会が始まり、その後は何時に終わったのかは全く定かではありません。

翌朝は、若干？アルコールを補給しつつ朝食をとった後、JR田沢湖駅から直接帰途につく同期生たちとホテルの皆さんに見送られ、私たちは「収めの会」に向かうため、午前9時ホテルを後にしました。

途中、このところ秋田のテレビでよく紹介されている「山のはちみつや」と「安藤醸造北浦本館」に立ち寄り、休憩。「はちみつフルーツ酢」を試飲したり、「しょうゆソフトクリーム」を食べたり、買物等を楽しんだ後、ふたたび横手に向かいました。

「収めの会」には37名が出席し、「よ

くてシャイニーパレス」で開催されました。

「同級生つってええなや」という声があり、話題は尽きず、来年の後祓いは東京で再会することを確認し、午後3時30分、楽しかった「還暦祝いの会」を終えました。

最後になりますが、いつもふるさとを温かく見守っていただいている「ふるさと栄会」の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

栄中学校第21同期会事務局

山本弘幸（記）



栄中第13期生（昭和三十五年卒）

# 同窓会

4月8日～9日

恒例の同窓会もさすがに今回は来年の古希もあることとて中止ではと思いつながらお伺いをたてると「来年出席できる保障もないし、これからは一年一年勝負だから」といわれ……で、「福島応援ツアー」を企画し、磐梯熱海温泉「一力四季亭」に集合しました。



栄中学校第13期生 郡山市磐梯熱海にて

総勢19名、いつもより少なめでしたが久しぶりの同窓会は相変わらず元気で賑やかでございます。お互いの近況報告と健康状態を確かめ合いながら、おいしい料理と酒に心地よいひとときを過ごすことができました。二次会で

のカラオケ参加者の少ないことや酒量の減ったことにはさすがに年齢を意識させられました。それでもこうして毎年参加できることは、本人の健康は勿論、家族の健康と理解があればこそと感謝いたしております。

次の日、野口記念館、ガラス館を見学して昼食を済ませ、来年の再会を期して解散となりました。幹事としては事故もなく満足して帰られたことに安堵いたしました。また来年の「古稀」には大勢の同窓生とお会いできることを楽しみにしております。

あつしさんが帰り際に「こんな楽しいことねばやー、みんな来ればいいのになあー」こんな嬉しい一言はありません。また幹事、がんばっちゃおうかな？

現地幹事 田澤 京子



楽しそうに踊る昔の娘たち

# 熱海に集う

8月5日～6日

第13期 同級生67歳68歳になった人も、7名が元気に横浜駅集合。和賀秀夫さんの運転で熱海へ直行。秀夫さんの友人・水原氏の別荘へ。水原氏は、湯沢出身との事。夜は、8人で和気あいあい、お酒も入り田舎弁ありの盛り上がり弾みました。



上多賀別荘地にて散歩中

見事な景色と熱海の今昔等々、数々の美術を鑑賞し、とても穏やかな時間を過ごすことが出来ました。

午後は、海産物の買物をして大満足で横浜駅にて解散。

更に絆を強くした二日間でした。そして安全運転に徹して下さった秀夫さんに感謝でした。

以上 茂呂信子（和賀）記



MOA美術館にて

翌朝緑の中、チトンヒイットを浴びウグイスの鳴き声を聴きながら橋田寿賀子邸近くまで50分程散策。その後、水原氏の案内でMOA美術館へ。館内もとっても素晴らしくエスカレーターで200m以上上がり（登り）



## 私の栄中学校物語

### 「三拍子校歌」を探した果てに

十一期生 大隅義隆（美砂古）

栄中学校では私は美術部に入っていました。照井先生・金沢先生から指導を受け、夏には写生旅行もありました。同年では阿部邦昭君、工藤（阿部）静子さんの両阿部とよく写生をしていました。（カッコが旧姓）。この美術部の一級上の人には印象がなく、二級上ではノリオさん、ノボルさん、チュウジさんなどが印象に残っています。

また私には音楽に関心もありました。特に楽器をやる人たちに印象があります。私もピアノが空いているときやってみました。しかし「両手が疲れる」ので長くは続きませんでした。私はその他多勢の笛っこを吹いていました。以下この物語には曲名や簡単な音楽用語が出てきますが、気にせずにお読み下さい。分数は楽符の最初に指定されている拍子です。

#### 奥村ゆき先生と「雪の降る町」

奥村ゆき先生は一年生のときの担任でもありましたが、音楽が担当でした。その音楽授業の最大の思い出は「雪の降る町」を教えてもらったことです。

当時ラジオで「雪の降る町を…」というシャンソン風歌謡が流れるようになりしました。奥村先生はその楽譜をわざわざガリ版印刷してみんなに配り、教えてくれました。

「雪の降る町」は前半がさびしい感じのイ短調、後半は希望に満ちていくイ長調になるが、具体的に「転調」ということを知りました。

教科書にないものを、しかも歌謡曲をガリ版印刷で教えてくれたことにごく感動しました。思い出の曲です。

#### 奥村先生と勳君の静かなやりとり

ある日、奥村先生は音楽理論を説明していました。すると私の前の席にいた高橋勳君は机に頭を載せて寝るかっこうになりました。勳は「なんだよう、こんな授業はおもしろくねえべ…」と主張しているのが私にはわかりました。

音楽理論が一段落した奥村先生はおもむろに「越天楽」（えてんらく・雅楽の曲）の前奏を弾き始めました。すると勳君はすぐ起き、教科書を開いて歌い始めました。満足のようでした。私は二人のその様子を見ていました。ストーカーかな？

私は勳君が「越天楽」を好きなことを知っていたが、奥村先生もそのことを知っていたのです。こうして奥村先生と勳君の静かなやりとりは、誰にも知られずに決着していくのでした。

#### 「三拍子」の栄中校歌が好き

「雪の降る町」や「越天楽」もいいですが、そういう一般曲とは別に、私は栄中校歌「色香も高さ大屋梅…」がとても気に入っていました。その楽譜は見たことがないですが、「三拍子」と言われていました。

それは奥村先生から教わったということはなく、みんなそう言っていました。そして歌えばすぐ4分の3拍子（3-4）などの「三拍子」系であることがわかりました。

一般に校歌などは4分の4拍子（4-4）などで、かつ重厚なものが普通です。しかし栄中校歌は明るく軽快、しかもワルツ風三拍子でした。私は卒業しても時々鼻歌で歌っていました。栄中卒業生として誇りがありました。

#### 「雪の降る町」鶴岡で奥村先生と再会

私は転勤族になっていました。昭和五六年に山形県鶴岡市に転勤になりました。実家の両親は「鶴岡には奥村先生がいるよ」と教えてくれました。ご長男夫婦と住んでいるということでした。

鶴岡に住んで、時々奥村ゆき先生に会いました。私が作った曲を見せると喜んでピアノで弾いていました。

その鶴岡市ですが、ここでは「雪の降る町 発想の地」として冬に音楽祭をやっていました。栄中学校で奥村ゆき先生から「雪の降る町」を教わったことに加え、その街に一緒に住んでいることに運命？を感じました。

そこに「ふるさと栄会」で役員をやっている太田弘久君から電話がありました。「東（あずま）さんが奥村先生の連絡先を探しているので、きみから教えてやってくれ」ということでした。それで小貫（鈴木）東さんに奥村先生の連絡先を教えました。

そのようなつながりが大きな役目を果たしてくれるのですが、そのころはわかりませんでした。

#### 高校野球で「三拍子校歌」を探して

さて話はだいぶ昔に戻って、ある年のお盆に帰省すると、貧乏な実家にもテレビが入っていました。愛知にいる妹が買ってくれたそうです。長男としてはすみませんでした。ともかく高校野球を見ていると校歌が演奏されます。「そうか、高校野球を見るとその校歌がわかるのか、そこで三拍子校歌を探そう」と考えました。

高校野球も春の大会・夏の大会とありますが、そんなに見られるものでもありません。また大会に出るのはほんの少しの高校です。それでもある年、三拍子とみられる校歌がありました。「三拍子校歌はあるんだな」と喜びました。

ところが平成二三年、東日本大震災があった夏の大会で、三拍子校歌が三校も見つかりました。よく甲子園に出る高校でした。これが勝ち進んでいくので何回か聴きましたが、確かに三拍子と見えました。

ちなみに国歌で言えば、例えばアメリカ国歌は三拍子（3-4）です。オリンピックなどよく聴きます。三拍子・ワルツはヨーロッパで発展したし、オーストリアなど三拍子はめずらしいものではないです。

なお日本の三拍子曲は大正ロマンで作られ、流行ったそうです。

### 栄中校歌の楽譜を探して

昔は十一期生の集まりでも「ふるさと栄会」会合でも校歌を歌っていました。しかし三拍子のため調子がとりにくいのか、だんだん歌われなくなりました。手拍子では歌いにくいから、右123左123…と体を左右にゆらせるとテンポがとれると思っています。

私は少なくとも集まりの時は校歌を歌いたいと思いました。最近では病気の具合も良くなってきたので、やろうと思いました。

そこで横手の幹事・和賀益人君に校歌楽譜を探してくれと頼みました。そして幹事の笹山隆子さんが南中学校に問い合わせたが、「探すのは大変」と言われたそうです。

するとそこにたまたま東さんが帰省したそうです。隆子さんは「栄中校歌の楽譜がないですか?」と聞いたようです。すると東さんは「楽譜はないけど、頭の中にあるからそれを書いて義隆さんにファックスする」と答えたそうです。

そのことをお二人から電話で聞きました。「さすが東さん」と何回も思いました。東さんはピアノをやっていた、奥村先生に代わって校歌も弾いていました。いまでもちゃんと楽譜を覚えていたのです。

そして、たまたま帰省した東さんに「校歌の楽譜がないですか?」とかまわず聞いてくれた隆子さんもすごいと思いました。このようなタイミングは

あるのですね。すべて感謝です。

### 東さんの栄中校歌ピアノ譜を見て愕然!

年末にさつそく東さんからファックスで手書きの校歌ピアノ譜が届きました。「さすが東さん」とまた思ってしまった。譜を見ました。しかし愕然としました。かなりのシヨックでした。そして動揺も私を襲ってきました。栄中校歌は四分の三拍子(3—4)ではなく、八分の六拍子(6—8)だったのです。ほう然としていると、東さんから電話がありました。東さんは「二拍子ですよ」と言いました。そこで昔から「三拍子校歌」と言われてきた意味がわかりました。

8分の6拍子(6—8)の栄中校歌は「二拍子系」であるが、おそらく「三拍子とみなすと理解しやすい歌いやすい…」ことだったので。

今回地震関係の学会では「宮城沖地震は想定してきたが、3:1:1の連動大地震は想定しなかった…」と大反省をしました。私の話は小さな小さなことですが「3—4拍子か3—8拍子は想定したが、6—8はまったく想定しなかった」と大反省をしました。シヨックです。私は校歌楽譜が見つからなければ、四分の三拍子(3—4)として設定し、メロディをたどって音符と和音を想定しようと思っていました。東さんに怒られるところでした。

### 八分の六拍子(6—8)ってどんな調子?

私は栄中を卒業後、横手工高に入りました。そこに美術部はなく、私は文

句なく吹奏楽部に入りました。私はクラリネットの担当になりました。私は練習曲目には行進曲も沢山ありました。

行進曲は2分の2拍子(2—2)が多いです。しかしとくに行進曲王と言われるスーザ作曲には八分の六拍子(6—8)行進曲が結構あります。行進曲ぐらゐのテンポになるとまったく違和感もなく簡単に2拍子として6—8行進曲が演奏できます。

一方、私はいま昔の同僚たちと「湯田リハビリバンド」というバンドをやっています。このバンドはたまたま「6—8北上夜曲」をオーブニング曲にしています。しかしゆっくりしているので私は四分の三拍子(3—4)に編曲しています。テンポをとりやすいためです。

さて、テンポの早い「6—8行進曲」、ゆっくりした「6—8北上夜曲」などの中間にあるテンポの「6—8栄中校歌」の扱いです。

そこで誰か「三拍子とみなして」ということにしたのでしよう。それが「栄中校歌は三拍子だ」という認識になったのです。

楽譜はわかったが、歌詞もわかりません。すると横手にいる妹が手書きのファックスをよこしてくれました。「作詞・三浦左嘉喜、作曲・柿崎かく司」でした。東さんの話だと、作曲した柿崎かく司さんにピアノを教わった、というのでした。では作詞した人はどういう人なのでしょう?

私は栄中校歌を愛唱してきたと言っても、詩も楽譜も何も知らずにきました。恥ずかしいです。

### 十一期生、久しぶりに校歌を大合唱

平成二十四年正月、私はギターを持って「雪の降る町」鶴岡を出ました。どこも雪でした。そして横手に行き、十一期生の新年会に出ました。校歌は一番を2回と思っていたが、一番二番またくり返して、結構な合唱になりました。ここでは音楽理論の話をするとかやこしくなるので「三拍子とみなして」やりました。

そして六月、神奈川県三浦半島での「古希後祝い」にもギターを持って行きました。佐藤宗徳君らにお世話になりました。東さんも参加してくれました。そして校歌などみんな4曲を歌いました。

最初の3曲はストーリー作家?和賀益人演出で「リンゴの唄」「ああ上野駅」「ブルー・ライト・ヨコハマ」です。指揮は東さん・友木智信君でした。

終わりの校歌の指揮では東さんは、手振りでも大きく「二拍子」で指揮していました。そこで初めて私は「本来の二拍子としての栄中校歌」を意識しました。ただしみなさん二拍子も三拍子も意識はないようでしたが、しかしちゃんと合っていました。

私は今後も集まりにはギターを持って行き、最後には校歌をやりたいと思っています。奥村ゆき先生の音楽教育と、同期生に感謝しながら。

栄中第19期生（昭和四十二年卒）

# 後厄を祝う会（親睦会）

19期栄中卒の参加者36名は、東京にて還暦後厄払いを実施いたしました。

実施日 平成24年6月16日～17日



同期生からは、一度でいいから東京の方で皆と同窓会をしたいと言うのが長年の夢と希望で有ると聞いており、今回はこのような形で開催出来た事に実行委員一同感謝いたしています。

当日は朝早くから秋田を出発して（新幹線こまち）東京駅午後十二時に集合して貰いました。全員集合出来の後、貸

切バスで移動し浅草寺を拝観・散策その後、バスの中から東京見学（皇居・国会議事堂）宿泊地へ移動、バスの中

は笑談会話で盛り上がり（神奈川県三浦海岸マホロバマインズホテル）午後五時半着。宴会までの時間は各人思い思いに昔話に花を咲かせていました。

宴会は六時半開催、途中からOB和賀秀雄さんも同席して頂き思い出に残る大変楽しい時間を過ごしました。また、二次会も夜遅くまで大変賑やかでした。

翌日は、参加者の中に如何しても軍艦を見たいとの要望があり予定を変更して一路、横須賀港へここで海軍軍艦三笠を見学

昼食は横浜中華街（大珍楼）で飲茶を頂きました。当日参加者の和賀秀夫さんが出席し一段とその場を盛り上げてくれました。（中学以来の再会）

その後バスで両国に移動し屋形船にて墨田川を遊覧観光（スカイツリをバックに記念写真）これには皆さんも感激したみたいで帰路の時間を忘れて遊覧してしまいました。

今回のスケジュールは一つ一つが感激や感動に包まれ旧友との親睦がより一層深まった二日間でした。参加して頂いた同期生の皆さん、大変ご苦勞様でした。

\*今後は各人、ご自愛に勤め、またあう日を楽しみに期待しています。

実行委員

笹山 勇二  
正木 敬治  
佐藤 勝子  
栗原 イヲ子

調査・測量・開発・設計・監理

## 三洋測量設計株式会社

代表取締役

大隅 邦男

〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡6番地

TEL 0465-36-2393

FAX 0465-36-5900

貴金属・宝石  
装身具・指輪加工

## 清水貴金属加工所

清水 勇治

〒143-0012

東京都大田区大森東4-29-12

TEL・FAX 03-3761-7366

（大曲市出身）

## 自費出版・学会誌印刷・印刷一般 （株）つくる印刷部

奈良 慶一郎

〒240-0065

横浜市保土ヶ谷区和田1-7-29

TEL: 045-337-0034(代)

FAX: 045-334-2983

E-mail: narasyoukai@nifty.com

決算・記帳・申告・相談

調査立会いなど税務一般

—ご利用ください—

税理士 太田 佐内

事務所：〒106-0031

東京都港区西麻布4-3-12

吉角ビル2F

TEL: 03-6427-4210

FAX: 03-6427-4211

携帯: 090-7428-0335

# じてんしゃ屋

## 国内外 自転車・オートバイ 販売・修理

〒013-0051 秋田県横手市大屋新町  
字新町167-5

## 石井輪店

TEL 0182-32-5894

FAX 0182-32-5940

栄中第7期生（昭和二十九年卒）

## 回顧・

## メモリアル修学旅行



古稀も無事クリアして卒業後57年目を迎えた今、中三時の修学旅行のコース巡りを再現しようと地元のひとつもの幹事が企画。21名が参加した。地元から馴染みの羽後交通の綺麗なバスが、又、上り方面からのメンバーとJR新庄駅東口に集合。

しばし賑やかな後まず、最上川芭蕉ライン下りは古川乗船場（戸澤藩）よりスタート。自称イケメン船頭の舟唄を聞きながら右岸の山一面の鮮やかな紅葉を堪能。未だ新しい右岸の休憩所へ上陸「今日は、お客さんが少ない」と片付け始めたおねえさん（昔の）をかにかいながら再び舟下りからバスへ。そして湯の浜方面へ。夕闇せまる頃、バスの左手に近々と五重の塔が見えてきた。ここは善法寺。当時ガイドは日本海岸の漁師に信仰の厚い古刹のこのと。この五重の塔をバックに荒川校長・阿部先生と共に写っている写真が残っている。

当時木造3階建ての「亀や旅館」は近代的な鉄筋8階建となっていた。ここで、57年前我々が大変親切でお世話になった面倒みの良い番頭さんの話を従業員にしたが、誰もその後の様子を聞いてみますとも言ってくれず。無理もないだろうがああ番頭さんもひよつとして100歳を越えたかどうかという年齢。尋ねた方も無理かもしれないが「他人には身をもって親切にしておくもんだなあ」としみじみ。2日目、

バスですぐ近くの加茂水族館へ。数年前のノーベル賞の下村博士との縁浅からぬ『くらげ』がおよそ40種が展示。このくらげは、山形近海で市職員や市民漁民が採集したものとか。暗い展示場内で青白い照明に浮かび上がった水槽内の大小のくらげはファンタスティック大人も子供も楽しめる。次は、屋外のあしかシヨ。芸をしこんで未だ1ヶ月余とか。出来の悪いあしかくんと係員とのやりとりがユーモラス。今後が楽しみだ。

又バスでJR山形方面へ。「この四つ角を左へ曲って左側に例の孫御殿があります」との案内もウツラウツラ夢の中。着いた所が庄内観光物産館。昼食。ここでお土産を両手の紙袋いっぱい自分でバスへ運ばなくて男の子（ジイサン）の手を借りてる女の子（バアサン）。又シヨケース内のパッケージ食料品を手にとって「山形の人はこんな野菜や草木でもこんな加工しておみやげにしてしまうのか、オラなば捨ててしまおう」と感心しきり。又、「この物産館へは、今年すでに3回来ている」と旅行に恵まれた人は、嫁ぎ先の

地元で地産地消を進める婦人達のリーダーをして人でしたJR山形駅で再会を固く約して解散お別れ。バスの地元組も列車の上り組も居眠りをしないで運に恵まれた人は車窓に紅葉を楽しんだのでした。中学の同期の集まりは格別の味わいがあります。この報告も一年遅れで今年卒業59年目、とすれば来年は中三の修学旅行から60年目。又々何かの予感がするこの頃です。又の日まで明るく元気で日々を過ごしたものだ。

大隅亮悦（記）





ふるさと栄会第29回目を迎えて

## 記念公演

# テノール 齊藤 忠生(ちゅうせい)の世界

### \*プロフィール\*

生まれは秋田県・天性の張りのある輝きを備えた美しい声の持ち主で、たぐいまれな演技力と表現力で、キャラクターテノールの第一人者である。大谷冽子・畑中良輔・宮元昭太の諸氏に師事。一世一代のエンターティナー故立川清登氏にその驚異的天分と音楽的才能を認められ、「メリーウイドゥー」のニエグース役は100回を超える公演に出演している。ミュージカルの分野では、松本幸四郎主演のミュージカル「スウィーニートッド」に出演し大好評を博した。歌うのが好き、人が好き、ライブコンサートで、カンツォーネ、タンゴ、シャンソン、ジャズ、演歌、何でも歌うが「寂しがりやの田舎モン」と本人はくつつたぐがない。

まずは、お楽しみ下さい。

なお更にテノール齊藤忠生氏とその仲間たちのコンサートへお出掛けの際は、出演されているかを確かめてからお出掛けのほうがいいでしょう。

☆出演は、ドイツミュージックレストラン

「アルテリーベ」

電話 〇三―三五―一九七〇〇七

FAX 〇三―三五―一九七〇五〇

〒105-0004 東京都港区新橋2-12-15

池伝ビルB1

「ふるさと栄会」の役員有志がお伺いした夜は、ボニージャックスのメンバーとそのスタッフとテーブルが隣り合わせでした。



カステラ・佃煮・和菓子・各種折箱  
杉・桐・モミその他高級箱類

## 佐藤折箱店

佐藤 千代見

〒332-0003 川口市東領家1-15-3

☎ 048-224-6194

東北地区不動産公正取引協議会  
(社)秋田県宅地建物取引業協会 会員  
(社)全国宅地建物取引業保証協会

免許番号 秋田県知事(9)第1068号

## 阿部不動産

代表者 阿部 信孝

横手市柳田字持田67番地

TEL 0182-33-5599(代)

FAX 0182-33-5699

Mail info@yokote.net

URL http://www.yokote.net/~abe-fudousan/

## 祈盛会

第29回 ふるさと栄会 総会

栄中7期生 (昭和29年卒)

大隅 亮悦  
千嶋 三郎  
柴田 邦夫

## 内山悦子

〒164-0001

東京都中野区中野4-3-1

サンクオーレタワー2502

TEL 03(5318)2729

FAX 03(5318)0321

携帯電話 090(3699)1270

## 高橋 誠

首都圏秋田県人会連合会 副会長  
多摩地区秋田県人会 会長

東京都昭島市田中町  
二一十八ー二十三  
電話 〇四二(五四五)二四四六

## 賛助金 ご協力ありがとうございました

ふるさと栄会の発展と活性化のため協賛金のご協力をお願い致しましたところ、23年度は101名の皆様から278,000円の多大なご厚志を頂戴致しました。ここに厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

会の更なる発展と維持運営のため、有効に活用させていただきます。  
今後ともご理解・ご協力賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

ふるさと栄会会長 高橋 豊

### 栄小学校 校歌

作詞 笹山 登生  
作曲 小野崎 普三  
編曲 鈴木 明美

一、大屋の里に 梅咲いて  
光あふれる 春のまど  
明るい校舎 元気な子  
楽しく学び 伸びてゆく

二、沼の若葉に 鳴くかっこう  
緑の風に 声あげて  
カいっぱい かけまわる  
うれしい広場 空高い

三、雪にとっしり 鳥海の  
静かな澄んだ まなざしを  
いつも心に 灯ともして  
みんなにここに 輪になろう

### 栄中学校 校歌

作詞 三浦 左嘉喜  
作曲 柿崎 かく司

一、色香も高き 大屋梅  
集う学び舎 名も栄  
むつみ学びて はげみゆく  
ゆくてはるかに 花かおる

二、いちうの沼の 水すみて  
うつす鳥海の 英峰を  
われらの心の 鏡にて  
ゆたけき栄に 光そら

## 会員ギャラリー



ベティちゃん



ブルー

油絵 永井 節子(15期)



フラワーアレンジメント 佐藤 カツ子(16期)



グラスの中のバンジー